

本日（11/4）公表いたしました「福島第一原子力発電所 2 号機におけるキセノン 135 の検出に関する経済産業省原子力安全・保安院への報告について」におきまして、誤記がありましたので、以下のとおり訂正いたします。

【訂正内容】

<別紙> 福島第一原子力発電所 2 号機の格納容器からの Xe 135 の検出について
5 ページ 5 行目

$$\text{正) } = 2.12 \text{ E} - 5 \times 8.9 \text{ E} \underline{16} / (3000 \times 1 \text{ E} 6)$$

$$\text{誤) } = 2.12 \text{ E} - 5 \times 8.9 \text{ E} \underline{15} / (3000 \times 1 \text{ E} 6)$$

なお、今回の訂正は計算式中の誤記であり、計算結果に訂正はございません。

$$\begin{aligned} 2 \text{ E} 12 &= 2.12 \text{ E} - 5 \times N + 1.3 \text{ E} - 6 \times N \\ N &= 8.9 \text{ E} 16 \text{ 個} \end{aligned}$$

格納容器内の Xe 135 の 1 c c 当たりの放射能濃度は

$$\begin{aligned} &N / (3000 \times 1 \text{ E} 6) \\ &= 2.12 \text{ E} - 5 \times 8.9 \text{ E} \underline{16} / (3000 \times 1 \text{ E} 6) \\ &= \underline{630 \text{ Bq} / \text{c c}} \end{aligned}$$

チャコールフィルターの捕集効率を Kr - 85 のチャコールフィルターでの測定値（ $5.3 \text{ E} - 1 \text{ Bq} / \text{c c}$ ）とバイアル瓶での測定値（ $8.3 \text{ E} 2 \text{ Bq} / \text{c c}$ ）の比から求めて、チャコールフィルターでの値に換算すると

$$\begin{aligned} &630 \times 5.3 \text{ E} - 1 / 8.3 \text{ E} 2 \\ &= \underline{0.4 \text{ Bq} / \text{c c}} \end{aligned}$$

万一、2 号機の燃料が臨界状態となっている場合には現状のレベルより 4 桁程度大きな Xe 135 濃度が観測されることとなるので、現状は臨界状態ではないと考えられる。

以上